

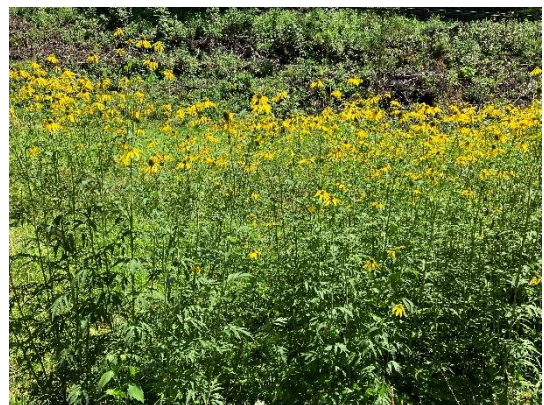
令和8年度第3回早池峰地域移入植物駆除に参加しました

令和8年8月8日(土)に行われた早池峰地域移入植物駆除に参加しました。

前回参加した第1回はセイヨウタンポポとオオバコが駆除の対象でしたが、第3回の今回はオオハンゴンソウが駆除の対象です。

当日は、関係機関、ボランティア団体など総勢30名が、岳駐車場から笠詰キャンプ場までの県道25号線の道路沿いや駐車場に生えているオオハンゴンソウを駆除しました。

オオハンゴンソウは、北アメリカ原産の多年草で、高さ1.5m～3mほどまでに成長し、夏になると鮮やかな黄色い花を咲かせます。繁殖力が非常に強く、在来種の成育場所を奪い、生態系に大きな影響を与えます。また、種と根で増え、種は数年間発芽する力を持っていることから、①「新たな種を散布させない」、②「根茎を取り除く」ことが駆除のポイントで根ごと引き抜くか根を掘り取って駆除します。



(オオハンゴンソウ)

岳駐車場付近は、花が開花していたため発見しやすかったのですが、峰南荘付近ではつぼみや芽生えの状態のものが多く、オオハンゴンソウと他の植物との見分けが難しく、経験豊富な参加者に教えてもらいながら作業を行いました。

今年度の回収量は39.35kgで、昨年度の回収量の約半分程度となりました。これは、継続的に駆除してきた成果が現れたものと思われます。



(回収したオオハンゴンソウ)